



雨が似合う紫陽花が咲き始めた



▷イベント  
『悩める  
分から紀  
代田区』  
▷イベント  
『遊ぶ』  
君も跳ベ  
ックセン

# どん底で支えてくれた『大河の一滴』

ラポール  
KAIZEN社長  
あおき 青樹      みちひろ 道弘氏



読み直すことで、自分の立ち位置を再確認している……と青樹さん

読書が好きか嫌いかについては意識したことはないが、気が付くと月に4、5冊は買って読んでいた。ただ、読み進めてフィードバックが合わなければ、たとえ途中で読むことを止める。逆に気に入れば、何度も読み返したり、心に留めたフレーズを手帳に書き留めておいたりする。五木寛之著『大河の一滴』は、これまで読んだ本のうちでも長く印象に残っている一冊と言える。

現在、中堅・中小企業を対象に業務改善や事業再生に関するコンサルティング会社を経営しているが、か



## 再出発への意欲もらう

つては樹脂加工メーカーの経営者で、倒産を経験した。この著作との出会いは、借り入れと返済を繰り返してきただけで、初めての人員削減を余儀なくされた

時期だった。先行きへの不安で思い悩み、夜も満足に眠れず、3カ月で体重が10kgも減っていた。

この本の中にこんな言葉があった。「現実にはプラス思考だけでは救われない世界がある。大きなマイナス思考という重要な世界もあり、そのどん底の中からしか本当のプラス思考はつかめない」。今でもよく覚えている。どん底を痛感していた時期だけに、この言葉に大いに励まされ、再出

発への新たな気持が湧いてきた。これが支えとなってきた。これが支えとなり、結果、いったん経営を立ち直した。

前向きに受け止めることができた。

コンサルティング会社の

### 溢れる熱き思い

倒産した経験を隠さない。むしろ、だからこそ、中小企業経営者らと同じ目線に立ってアドバイスできるという強みと捉えている様子がかがえる。また印象に残ったフレーズを書き込んだ手帳には、さまざま

### 滴

本や雑誌の言葉などが細かな字でびっしりと記されていた。どんなところからも情報を得ようとする貪欲な姿勢も見て取れる。「こうしたことすべてを、苦境にある多くの中小企業経営者らのために生かしたい」と語るまなざしに熱い思いを感じた。(碩靖俊)

## 八重洲ブックセンター本店ベストセラー

総合 (5月12-18日)				価格(円)
順位	タイトル	巻号	著者	出版社
1	改訂版	これで安心、地主様の相続税対策	町山三郎 監修	週刊住宅新聞社
2	世界は君を待っている!		中野 正夫	中央経済社
3	統計学が最強の学問である		西内 啓	ダイヤモンド社
4	雑談力が上がる話し方		斎藤 孝	ダイヤモンド社